

設楽町まち・ひと・しごと創生推進計画 令和4年度、5年度実績に基づく効果検証結果

No.	交付金事業の名称/事業概要/実施内容	実績（単位：円）		評価指標	目標値（R6年度）	実績値（R4年度）	R4評価	実績値（R5年度）	R5評価	結果に対する現状、原因、改善について
		（寄付額）	内基金積立額							
1	（地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）） 設楽町まち・ひと・しごと創生推進計画（令和3年度～令和6年度） ■事業概要 ・基本目標1 設楽町で継続した暮らしを実現する ・基本目標2 設楽町で働きたい方の希望を実現する ・基本目標3 設楽町で暮らしたい方の希望を実現する ・基本目標4 設楽町での子育て希望を実現する ・基本目標5 設楽町に訪れた方の満足を実現する	2,000,000	2,000,000	小規模多機能自治組織の形成	1地区	0地区	D	0地区	D	小規模多機能自治組織の必要性、その前段階としての地域計画の策定については、行政主導ではなく住民との協働により進めていくプロジェクトです。しかしながら、協働の必要性が明確でなく、思うような進捗に至っていないのが現状です。そのため、住民協働に至るまでの過程を明確にし、持続可能な方法を検討する必要があります。まずは、住民協働の取り組みを実践していく中で必要性を明確化することに着手しています。
				基幹バス路線の維持	4路線	4路線	A	4路線	A	現状維持に努めている。
				町内公共交通の利用者の維持	48,849人以上	54,646人	A	87,603人	A	目標値はクリアしているものの、人口の自然減に伴う公共交通利用者数が見込まれるため、利用促進対策が必要となる。
				新規就農者数	4人/年	3人/年	B	0人/年	D	新規就農する際、初期投資額が高いため、既存の機械、ハウス等の継承を進めている。それが現在ないため、新規就農者が入れない状況である。今後は、経営継承を進めるため、指標を見直す。
				新規林業従事者数	1人/年	0人/年	D	1人/年	A	森林組合が事業継続・技術継承のため、新規雇用を行っている。
				新規起業家数	5人/年	3人/年	A	0人/年	D	コロナ禍から通常の社会生活に回復したこともあり、個人で創業をする方が減っていると思われる。商工会等と協力をし、創業したい方の創業意欲を高めて行く。
				移住施策のPR	25,000アクセス/年	57,130アクセス/年	A	78,689アクセス/年	A	空家に関する需要や関心が高い。空家バンクの情報発信とともに、移住定住施策や地域の魅力に関する情報を発信していく。
				住まいの確保(分譲地)	5区画/年	0区画/年	D	0区画/年	D	宅地として活用できる空地がない状況。宅地分譲事業の実施を検討。若者定住促進住宅補助事業については、令和6年度末までの時限要綱となっているため、継続等について協議する。 転出者に対するアンケートは東三河広域連合主導のアンケート調査が終了したため、町独自の調査実施に向け検討する。
				空家バンク契約成立件数	5件/年	9件/年	A	5件/年	A	登録物件を増やし、契約成立に繋げていく。
				出合いイベントカップル成立件数	7件/年	1件/年	D	0件/年	—	イベント内容の精査を行う
				合計特殊出生率	1.8/単位	1.1/単位	C	1.1/単位	C	2022年の愛知県の合計特殊出生率1.35（全国1.26）である。全国的に見ても減少傾向にある。
				待機児童数	0件/年	0件/年	A	0件/年	A	各園の認可人員及び職員配置基準内で園児数が推移している
				海外派遣で英語力の向上に自信を持って中学生の割合	50%	0%	—	0%	—	海外派遣事業を実施していない。
				県立田口高等学校の生徒数の維持	120名	70名	C	76名	C	町も構成員として参画している学校運営協議会の中で地域と共に学校の魅力化を図り、生徒数の維持に務める
				町外への販売商品の拡大	25件/年	19件/年	C	25件/年	A	25件中24件が県内での販売。（うち1件が岐阜県） ルネッサンストマトや加工品(こんにゃく、ジビエ缶詰、甘露煮)、田口塩麴の販売に務めた。今後も積極的に町外への販路を拡大する。
				奥三河ふるさとガイドの活用	件数150件/年	件数34件/年	D	件数151件/年	A	巨木展を主体的に実施。奥三河郷土館、田口高校、杜若高校、豊橋動物園、愛知県図書館等で町内外に活動範囲を広げ、地域資源の発信と自然と人の魅力が一体化した観光を実践している姿をPRできた。今後もさらなる魅力を発信できるようにする。
設楽町観光協会の収益向上	10,000千円/年	8,547千円/年	B	9,386千円/年	B	設楽の山城御城印、図録、田口線グッズ、オリジナルトートバッグ、WRCグッズ、段戸湖釣り事業等が収益となっている。法人化を進めさらに事業を拡大し収益を望む。				
設楽町観光協会HPへのアクセス数	170,000アクセス/年	529,413アクセス/年	A	437,404アクセス/年	A	R4HP4,596、x3,542、フェイスブック2,583、Instagram1,886 R5HP8,690、x3914、フェイスブック2691、Instagram2,291 SNSをさらに駆使し情報発信に務める。				
イベント及びツアーの売上向上	11,400千円/年	520千円/年	C	799千円/年	C	現在実施できるイベント及びツアーは限られるため、法人化した後、事業拡大を図り、誘客に努める。				

◆凡例（評価の区分：％は進捗率）：A 目標どおり（100％～）、B 概ね目標どおり（80％以上～100％未満）

C 目標をやや下回る（50％以上～80％未満）、D 目標を下回る（50％未満）、— 測定・評価不能